

TREE seminar

5月17日(木) 理学部5号館2階 5208教室 17:00～18:00

違いの分かるヤモリ、分からないヤモリ ヤモリ属の鳴き声による種認識機構とその喪失



講演者：城野哲平 Teppei Jono

所属：京都大学 理学研究科
動物行動学研究室

〔要旨〕

同所分布する近縁種間では、異種との繁殖干渉による適応度の低下を避け、種の独立性を維持するために、配偶相手を正確に認識するためのシグナルがしばしば進化する。

日本に分布するヤモリ属8種は、分布が重なっているにも関わらず遺伝的交流がない種の組み合わせがある一方で、自然交雑を起こしている種の組み合わせも存在する。発表者は生殖前隔離としてのコミュニケーションシグナルの種間差が、このような交雑状況の違いを生み出しているのではないかという仮説を立て、検証を進めてきた。

本講演では、これまでの研究で明らかとなったヤモリ属の知られざる小さな鳴き声とその種間多様性について紹介し、それがヤモリ属における種多様性の創出と維持にどのように関わってきたかについて考察する。



QRコード

尚、セミナー終了後に懇親会もごさいますので、そちらにもご参加ください